

ICP2016 にて招待講演を行いました(2016/7/25)

テーマ：東日本大震災、生きる力、心理学
場所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

平成 28 年 7 月 24 日（日）～29 日（金）にかけて、パシフィコ横浜にて、第 31 回国際心理学会議（ICP2016）がとり行われ、当研究所の杉浦元亮教授（人間・社会対応研究部門）と佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が招待講演を行いました。国際心理学会議は、心理学系の国際会議で、4 年に 1 回、世界各国で開催されています。第 31 回となる今回は、我が国の横浜にて開催となりました。

当研究所の連携教員でも阿部恒之教授（東北大学大学院文学研究科）がオーガナイザーとなり、“What happened in the struck area of the Great East Japan disaster ?（東日本大震災の被災地で何が起こったのか？）” という特別セッションが企画され、杉浦元亮教授と佐藤翔輔助教が招待講演者となりました。杉浦元亮教授は“Eight Factors of the “Power to Live” with Disasters: Education, Experiment, and Neuroscience” という題目で、当研究所にて共同研究を行っている「生きる力」に関する研究の現状や将来展望について、佐藤翔輔助教はセッションの冒頭にて“Actual damage from the 2011 Great East Japan earthquake and tsunami: The actual state in affected areas with data stored in digital archives” という題目で、震災アーカイブデータを用いた東日本大震災の物理的被害やその背景の紹介と、発災以降の東北大学の取り組みについて講演しました。

セッション中・後には、活発な議論が行われ、盛会のうちにセッションは終了しました。



杉浦元亮教授による招待講演



佐藤翔輔助教による招待講演



会場入口

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）